

福祉の充実を図ることが 人口の安定化に重要

町長 子育て支援を継続していく

斎藤 好信 議員



町の将来に向けての取り組み、ビジョンは

質問 人口の推移が大きなパロメータになる。下川町の10年後、20年後を見据えて、さらに力を入れて、手を打つべきものは何か。

産業の振興と共に福祉の充実を図ること「人への投資」が人口の安定化に重要ではないか。

町長 「手を打たなかつた場合」の人口の推計値では、13年後で2千5百人、23年後で2千人と予測される。

人口の抑制を図るために各種施策に取り組んでいる。移住者や起業家の誘致活動、事業承継や労働力不足に対応するための人材マッチング活動の取組み。中古住宅の流動化システムの構築に着手している。子育て世帯の経済負担の軽減については、今後も実施している子育て支援を継続していく。

清負担の軽減については、今後も実施している子育て支援を継続していく。

再質問 循環型森林経営という下川の理念、町民との合意形成の中で、企業誘致もあるのではない

置の考えは。今後も実施している子育て支援を継続していく。

(2)葬儀のためのバスター
(3)安原公園にトイレの設置の考えは。

(4)町民会館図書室の衛生管理については、町民の安心安全のために、次年度に向けて、書籍消毒器の導入及び実施方法を検討する。

(5)コモレビでの特產品の販売の検討は。

(4)町民会館図書室に書籍消毒器の導入の考えは。

(5)コモレビでの物販について、入居している4

団体と協議し、今後進めていきたい。

町長 企業誘致だけに依存しているわけではない。地域資源を活用しながら地域内の企業の発展、また関心を高く持たれている企業との連携も考えている。

質問 町民、町外からの来町者の要望を踏まえ施設の利便性の拡充を図るべき。次の件の考え方は。

公共施設の利便性の拡充を

(1)フレペのトイレの開放時間の拡充は。

(2)葬儀のためのバスター ミナル使用については、ミニマル使用については、

(3)安原公園のトイレ設置について、必要性を十

(1)フレペのトイレの開放時間の延長については、防犯上の問題があり難しい。しかし、お盆等の帰省時期は、利用者に不便をかけないよう指定管理者と協議を進める。

(2)葬儀のためのバスター ミナル使用については、

町葬など規模の大きな葬儀に限り、特別な措置として対応している。夜間は、施設全体を機械警備システムにより管理を行つており、今後も、最小限かつ特別なものに限る

とと考えている。

(3)安原公園のトイレ設置については、必要性を十



書籍消毒器導入を検討している町民会館図書室